

第8回チャリティウォーク【県北18】



●西那須野駅～大田原～黒羽

旧・東野鉄道 18kmを歩く人募集

フードバンク
県北

フードバンク
うつのみや

フードバンク
日光

フードバンク
那須烏山

フードバンク
あしかが

フードバンク
真岡

コロナでも、
県北の助け合いは
フードバンクから



10/3 (土)

●参加者＝寄付者…70人

●参加できる人 →

(個人) 食品5kg以上の寄付。または、

定額給付金 3,000円か、5,000円か、1万円以上寄付した人

(団体) 3～5人。食品20kg以上を寄付。または、

定額給付金3万円以上を寄付したグループ

寄付だけ、もOK

※食品も、寄付も、なるべく自分以外
の人から集めてね。集めるときに「困っ
てる人がいる」とことを伝えてください。

コロナで、失業。
家族は5人。
娘のバイトもなくなつた
（県北在住Yさん家族）

アルバイトなくなった。
学費も滞納。
これ以上、親に頼れない
(大学3年男)

パート時間が減って、
生活費がない。
自分は1食だけ...
(Kさん40代・小学生2人の母子家庭)

病気だけど、
働かないとい…
無年金なので
(73歳男性・元自営業)

小さい子が2人。コロナ学校休校で、
2か月、働きに行けなかった。
生活費がなくて、
電気・水道も止まりそう。
(Mさん子ども2人の母子家庭)

主催：フードバンク県北
(認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク)

大田原市住吉町2-16-22

☎ 0287-48-6000

フードバンクとは

▼日本では、賞味・消費期限がある食品が年間 **642万トン** 廃棄されています。半分は家庭から、半分は企業から。これは米の年間生産量 840 万トンの 4 分の 3 です。いっぽうで日本では **1920万人** が貧困線以下 の暮らしをし、その中には解雇や倒産、病気、怪我などで困窮に直面している人が数十万人います。▼フードバンク県北、フードバンク宇都宮・日光・那須烏山では、まだ安全に食べられるのに様々な理由で処分されてしまう食品を、福祉施設や食べ物に困っている困窮世帯に届けています。

▼フードバンク県北 (那須塩原・大田原など) は、

昨年 600 世帯 に食品の支援をしました。今年は **コロナによる解雇、失業、パートの減少が、もともと困っている家庭（病気、低年金、ひとり親、外国人等）を、さらなる生活困窮に追い込んでいます。**

助け合いの基本 = フードバンク県北の活動を支えてください。

募集要項・申込》 <https://567.jimdofree.com/>



1、日時・場所

・2020年10月3日(土)・9時~16時

時頃(雨天実施)

・西那須野駅→大田原→黒羽支所
(約18km。旧・東野鉄道を歩く)

・持参品:昼食、雨具、マスク

2、参加できる人

(個人): 食品5kg以上の寄贈、また

は定額給付金3,000円か5,000円か

1万円以上を寄付した人

(団体): 1チーム3~5人。食品20

kg以上の寄贈、または定額給付金3
万円以上を寄付したグループ

※食品は(できれば)多くの人から集

めてください。(ほしいもの:缶詰、
レトルト、麺類)

※特別定額給付金の寄付も、自分で

声をかけて身近な人から集めて寄付
してもOKです。

3、募集

・参加者70人(団体10チーム、個人:
20人)

・ボランティア50人

・協賛企業・施設10社 寄付金およ

び参加者への支援飲料、食品など

4、コロナ対策

・密にならないような野外でのイベ
ントです。当日は検温をします。

・直前10日以内に発熱した人は参加
できません。申し出てください。

・コロナの拡がりで、予告なくイベ
ントを中止することもあります。事
前の寄付金等の返却はしません。

困窮の実情

夫失業 + 娘の失踪 + 孫の養育⇒仕事できず⇒困窮

安藤和子さん (仮名・40代)



6年前は夫と長女、長男、次男の5人で暮ら
していた。夫は建築関係だが、最近仕事が減り、
収入がない。さらに18歳で親元を離れ内縁関係のまま2人の子供を生
んでいた長女は、内縁の夫と別れて、2人の子どもを和子さんの元に置
き去りにして失踪。安藤家には2人の孫の養育費もかかるようになった。
和子さんは孫から手が離せずパートの仕事にも就けない。

夫の浮気⇒DV⇒精神疾患⇒離婚⇒困窮

伊藤初音さん (仮名・50代)



夫と子ども2人の4人家族。夫婦共働で生活にゆとりがあった。
しかし、夫の浮気で夫婦が不仲に。途端に夫の態度が豹変し毎日の
暴言。それが原因で初音さんは精神疾患になり仕事もできなくなっ
た。さらに離婚。親権は得たが収入が全くなくなった。

病気を押してやっと仕事に就いたが、コロナで仕事もほぼなくなり
り、生活保護に相談に行ったが、受給までの間の食品がほしい。

参加申込書

(FAX 0287-48-6700)

個人で参加(1欄へ) 団体で参加(2欄へ) 歩かないが支援する(3欄へ)

第1次〆切 9/10、最終〆切 10/1

1、個人 欄

・氏名: _____ (歳)・電話: _____
・メール: _____ @
・住所: _____
・寄付の予定額: 3,000円、 5,000円、 10,000円以上、
□食品の寄贈
・寄付の方法: 現金、 クレジットカード、 郵便局、 銀行

3、歩かないが支援する

□寄付する(円)
□寄付する(1口5万円のガンジー基金で)
□食品支援する ボランティアする
・氏名: _____ ·電話: _____
・メール: _____ @
・住所: _____

2、団体 欄

・代表者氏名: _____ ·電話: _____
・メール: _____ @
・住所: _____
・参加チーム名: _____
・寄付の予定額: 3万円以上、 食品の寄贈、 両方やる!
・寄付の方法: 現金、 クレジットカード、 郵便局、 銀行
・参加者名(3~5人): _____

(銀行振込)

●栃木銀行 馬場町支店 普通 9918701
●名義:(特非)とちぎボランティアネットワーク
理事矢野正広

※振込後、電話で住所・氏名・電話番号を伝えて
ください。領収証のため。TEL028-622-0021

※クレジット
寄付▼

